



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム緑愛園	階数	地上7階、地下1階
建設地	札幌市清田区平岡1条2丁目75-7	構造	RC造
建物用途	病院	平均居住人員	96人
竣工年	2025年6月 予定	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
敷地面積	4,089㎡	評価の段階	実施設計段階評価
建築面積	811㎡	評価の実施日	2024年5月10日
延床面積	4,506㎡	作成者	
		確認日	
		確認者	



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3** ★★★★★ B+

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 建築環境SDGsチェックリスト評価結果

\*SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 一次エネルギー消費量の評価

建物全体の[BEI][BEIm] **0.77**

ZEB/ZEH-Mランク **非該当**

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.4

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.7

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 建物を高層とすることにより基礎、防水などの建築コストの削減に配慮。	<b>A 省エネルギー</b> 平面形状を最小限に抑え外皮面積を最小限とし、冷暖房費などに配慮。
<b>B 省資源等</b> 高効力ボイラー、節水型衛生器具、LED照明、人感センサーなどを採用し省エネルギー化に配慮。	<b>D 雪処理</b> 敷地内に十分な駐車場スペースを設け、冬場の堆雪スペースなどに利用。
<b>C 緑化</b> 敷地の20%以上に植樹や張芝などの緑地を整備し緑化に配慮。	

### 4 ほかの認証・評価制度の利用

(一財)住宅・建築SDGs推進センターのCASBEE認証	-	BELS認証	-	LEED認証	-
上記以外の認証・評価制度の利用	-				

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■環境品質Q=25×(Qのスコア-1)、環境負荷L=25×(5-LRのスコア)より算出

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>												<b>3.4</b>
<b>Q1 室内環境</b>												<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>												<b>3.0</b>
1.1 室内騒音レベル		-	3.0	0.40	3.0	0.40						
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40						
1	開口部遮音性能	-	3.0	0.40	3.0	0.30						
2	界壁遮音性能	-	3.0	0.60	3.0	0.30						
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	-		-	3.0	0.20						
4	界床遮音性能(重量衝撃源)	-		-	3.0	0.20						
1.3 吸音		-	3.0	0.20	3.0	0.20						
<b>2 温熱環境</b>												<b>3.0</b>
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50						
1	室温	-	3.0	0.38	3.0	0.57						
2	外皮性能	省エネ	3.0	0.25	3.0	0.43						
3	ゾーン別制御性	-	3.0	0.38		-						
2.2 湿度制御		-	3.0	0.20	3.0	0.20						
2.3 空調方式		-	3.0	0.30	3.0	0.30						
<b>3 光・視環境</b>												<b>3.0</b>
3.1 屋光利用			3.0	0.30	3.0	0.30						
1	屋光率	-	3.0	0.60	3.0	0.60						
2	方位別開口	-		-		-						
3	屋光利用設備	省エネ	3.0	0.40	3.0	0.40						
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30						
1	屋光制御	省エネ	3.0	1.00	3.0	1.00						
3.3 照度		-	3.0	0.15	3.0	0.15						
3.4 照明制御		-	3.0	0.25	3.0	0.25						
<b>4 空気質環境</b>												<b>3.5</b>
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63						
1	化学汚染物質	使用無し	4.0	1.00	4.0	1.00						
4.2 換気			3.0	0.30	3.0	0.38						
1	換気量	-	3.0	0.50	3.0	0.33						
2	自然換気性能	-		-	3.0	0.33						
3	取り入れ外気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33						

4.3 運用管理				3.0	0.20		-	
1	CO <sub>2</sub> の監視		-		-		-	
2	喫煙の制御		-	3.0	1.00		-	
<b>Q2 サービス性能</b>					0.30	-	-	3.1
<b>1 機能性</b>				3.7	0.40	4.4	1.00	3.9
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	5.0	0.60	
1	広さ・収納性		居室の広さ及び収納を設置		-	5.0	1.00	
2	高度情報通信設備対応		-		-		-	
3	バリアフリー計画		-	3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	3.5	0.40	
1	広さ感・景観		-		-	3.0	0.50	
2	リフレッシュスペース		-		-		-	
3	内装計画		内観パースにより内装計画の事前検証を実施	4.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理				4.5	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計		耐久性のある塗装剤や防水材の使用	5.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保		維持管理マニュアルの作成	4.0	0.50		-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>				3.0	0.30		-	3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)		-	3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能		-	3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数		-	3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	省資源	-	3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				3.2	0.20		-	
1	空調・換気設備		ロスナイ換気	3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		節水型機器の使用	4.0	0.20		-	
3	電気設備		-	3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		-	3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		-	3.0	0.20		-	
<b>3 対応性・更新性</b>				2.1	0.30	1.9	1.00	2.0
3.1 空間のゆとり				1.8	0.30	1.8	0.50	
1	階高のゆとり		-	1.0	0.60	1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ		-	3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				2.0	0.30	2.0	0.50	

3.3 設備の更新性				2.6	0.40		-	
1	空調配管の更新性		-	2.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		-	2.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		-	3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		-	3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		-	3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30		-	4.1
1	生物環境の保全と創出	緑化	駐車場の整備に関わらない既存樹木は存置	4.0	0.30		-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮	緑化	空地の緑化	5.0	0.40		-	5.0
3	地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	雪処理	-	3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	省資源 緑化	-	3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性								3.2
LR1 エネルギー				-	0.40		-	3.7
1	建物外皮の熱負荷抑制	省エネ	BPI= 0.75 品確法= 整形な建物形状	5.0	0.20		-	5.0
2	自然エネルギー利用	省エネ	-	3.0	0.10		-	3.0
3	設備システムの高効率化	省エネ	BEI= 0.77 -	3.6	0.50		-	3.6
4	効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング	省エネ	-	3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制	省エネ	-	3.0	0.50		-	
集合住宅の評価								
4.1	モニタリング	省エネ	-					
4.2	運用管理体制	省エネ	-					
LR2 資源・マテリアル				-	0.30		-	3.2
1	水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水		節水型衛生器具の採用	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		-	3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		-	3.0	0.30		-	
2	非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1	材料使用量の削減	省資源	-	3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	省資源	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	省資源	-	1.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	省資源	-	-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	省資源	天井材は一部を除き、化粧せっこうボードを使用	5.0	0.22		-	

<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				<b>3.6</b>	0.20		-	<b>3.6</b>
3.1 有害物質を含まない材料の使用			F☆☆☆☆の建材を使用	<b>5.0</b>	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避				<b>3.0</b>	0.70		-	
1	消火剤	省資源	-	-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)	省資源	-	3.0	1.00		-	
3	冷媒	省資源	-	-	-		-	
<b>LR3 敷地外環境</b>				<b>-</b>	<b>0.30</b>		<b>-</b>	<b>2.7</b>
<b>1 地球温暖化への配慮</b>		省資源	CO2削減機器の使用	<b>3.7</b>	0.33		-	<b>3.7</b>
<b>2 地域環境への配慮</b>				<b>2.0</b>	0.33		-	<b>2.0</b>
2.1 大気汚染防止		省資源	-	<b>3.0</b>	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		省資源 緑化 雪処理	-	<b>1.0</b>	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				<b>3.0</b>	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減	省資源	-	3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制		-	3.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制	省資源 雪処理	-	3.0	0.25		-	
<b>3 周辺環境への配慮</b>				<b>2.4</b>	0.33		-	<b>2.4</b>
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				<b>3.0</b>	0.40		-	
1	騒音		-	3.0	0.33		-	
2	振動		-	3.0	0.33		-	
3	悪臭		-	3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制				<b>1.6</b>	0.40		-	
1	風害の抑制		-	1.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制		-		-		-	
3	日照阻害の抑制		-	3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制				<b>3.0</b>	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		-	3.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		-	3.0	0.30		-	



■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2021v1.0

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2021(ver.1.0)

1 建物概要		BEE	1.3	BEEランク	B+
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム緑愛園				
建物用途	病院				
延床面積	4,506.4 m <sup>2</sup>				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート	
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー	★★★★★	<p>省エネルギー性能</p> <p>省資源等への取組</p> <p>緑化への取組</p> <p>雪処理</p> <p>★1=スコア(最低点~最高点)20%以下 ★2=スコア(最低点~最高点)20%~40%以下 ★3=スコア(最低点~最高点)40%~60%以下 ★4=スコア(最低点~最高点)60%~80%以下 ★5=スコア(最低点~最高点)80%以上</p>
	省資源等	★★★☆☆	
	緑化	★★★★☆	
	雪処理	★★★☆☆	

3. 重点項目のCASBEEスコア							
A 省エネルギー ( 最高点 26.0 最低点 7.4 )				合計		18.5点 / 26.0点	
Q1 温熱環境	スコア	1.2 / 2.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア	4.0 / 4.0		
Q1 光・視環境	スコア	2.5 / 4.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア	1.2 / 2.0		
			LR1 設備システムの高効率化	スコア	7.2 / 10.0		
			LR1 効率的運用	スコア	2.4 / 4.0		
B 省資源等 ( 最高点 23.9 最低点 7.5 )				合計		14.0点 / 23.9点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア	0.6 / 1.1	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア	5.4 / 9.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 / 2.3	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア	1.3 / 2.1		
			LR3 地球温暖化への配慮	スコア	3.7 / 5.0		
			LR3 地域環境への配慮	スコア	1.6 / 4.4		
C 緑化 ( 最高点 15.3 最低点 3.1 )				合計		11.5点 / 15.3点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア	3.6 / 4.5	LR3 地域環境への配慮	スコア	0.5 / 2.5		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア	6.0 / 6.0					
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	1.4 / 2.3					
D 雪処理 ( 最高点 3.0 最低点 0 )				合計		1.0点 / 3.0点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア	0.0 / 1.0	LR3 地域環境への配慮	スコア	1.0 / 2.0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■重点項目の最高点は、各評価項目でレベル5で評価された場合の点数

■重点項目の最低点は、各評価項目でレベル1で評価された場合の点数